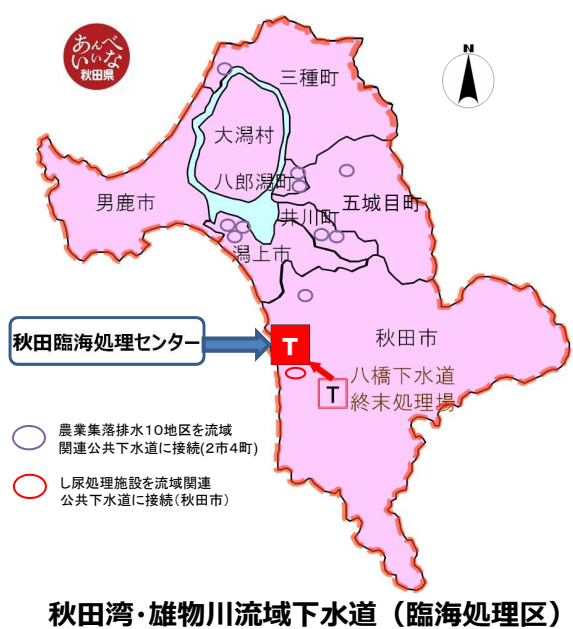


- 日本海に面する秋田市臨海部埋立地に整備した県内最大の下水道終末処理場であり、県内の3市4町1村の汚水を処理している。
- 昭和57年4月供用開始
- 処理能力：143,000〔m³/日〕※令和2年度増強 計画処理人口：357,700人
- 広域化・共同化推進の中核の処理場として、農業集落排水やし尿処理施設の汚水等を集約。
- R2年度中には新技術※の活用によって能力を増強し、「秋田市八橋下水道終末処理場」の汚水を受け入れる予定。



秋田湾・雄物川流域下水道 秋田臨海処理センターリノベーション計画の概要

- 下水道資源の利活用を通じて、秋田臨海処理センターを地域の脱炭素化と活性化に資する拠点として再生し、「元気なふるさと秋田づくり」に貢献する下水道施設の新たな価値を創造する。
- ◇ **エネルギー供給拠点化**
 - ・地域バイオマスの集約と汚泥燃料化 ・風力及び消化ガス発電によるエネルギー自立化と地域供給及び非常電源活用
- ◇ **憩い・賑わいの拠点化**
 - ・「じゅんかん育ち※」普及促進 ・処理水、排熱利用の共同研究 ・コンポスト利用農場として敷地開放
- 事業期間： 令和2年度から令和7年度まで（6年間）



急激な人口減少を迎えた下水処理場の新たな価値創造を図る

【佐賀県佐賀市】佐賀市下水浄化センターの概要

▼ 佐賀市下水浄化センター

- 生態系豊かな有明海の北部に位置し、佐賀市民の大部分の下水を処理。
- 昭和53年11月供用開始
- 処理能力：約68,000(m³/日) 計画処理人口：179,400人
- 地域密着型の施設として下水道資源を積極的に有効活用し、地域へ還元。

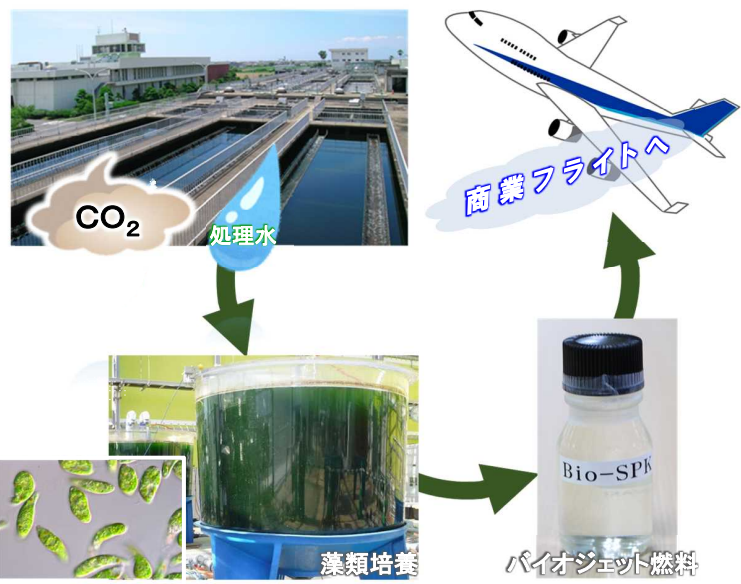
▼ 下水道資源の活用イメージ



佐賀市下水浄化センター リノベーション計画の概要

- 下水道資源からエネルギー（豊かさ）を創出し、地域へ還元するための様々な取組をさらに推進するため、地域バイオマスの集約処理等により、各取組の機能を維持・向上させるとともに、下水浄化センターを拠点とした地域のさらなる活性化を目指していく。（事業期間：令和2年度から令和6年度まで）
- ▶ **エネルギー供給拠点化**：下水浄化センターを拠点に、し尿処理場や食品工場からの地域バイオマスを集約し、さらなるエネルギーを創出。エネルギー創出の過程で得られる二酸化炭素等から藻類を培養し、商業用のバイオジェット燃料へ活用。
- ▶ **憩い・賑わいの拠点化**：消化ガス発電の過程で排出される二酸化炭素を活用した高付加価値農業、地元の保育園・幼稚園児による下水汚泥由来肥料を用いた農業体験等。

▼ エネルギー供給拠点化



▼ 憩い・賑わいの拠点化

